

- 問1 日本の歴史において、守護・地頭の設置や御成敗式目の制定が行われた時代（鎌倉時代）の様子を説明した記述として、ふさわしくないものはどれですか。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. 将軍と御家人が、土地を媒介として御恩と奉公の主従関係を結んだ。
 2. 北条氏が執権の職に就き、幕府の政治を動かした。
 3. 元軍の侵攻に対し、九州の御家人たちが防戦にあたった。
 4. 実力のある下の者が上の者を倒して地位を奪う、下剋上の風潮が広がった。
- 問2 戦国時代、鉄砲の伝来などにより戦術が変化し、大規模な軍勢力とそれを支える安定した領地経営が不可欠となりました。こうした中、戦国大名が領国内の紛争を禁じたり、年貢の徴収を確実にしたりする目的で定めた「分国法」の性質として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. 戦国大名が、室町幕府の法によらずに自らの領土を統治するために独自に定めた法律である。
 2. 鎌倉時代の慣習法を整理し、武士の裁判を公平に行うために幕府が定めた法律である。
 3. 幕府の許可を得た大名だけが、他国との貿易を制限するために定めた規則である。
 4. 朝廷が全国の公家や武士に対して一律に適用した法律である。
- 問3 戦国大名が定めた「分国法」に見られる特徴や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 岡山県公立入試 類似）
1. 鎌倉幕府が御家人たちの土地争いを公平に解決するために制定した
 2. 天皇や公家の行動を厳しく制限し、政治に関与させないようにした
 3. 江戸幕府が諸大名を統制し、勝手に城を修理することを禁じようとした
 4. 領国内での私的な争いを禁止し、大名による裁判権を確立しようとした
- 問4 1543年に種子島に漂着した船により、日本に初めて鉄砲が伝えられました。当時の種子島の鍛冶職人がその仕組みを学び国産化を進めたといわれる、この武器を日本に伝え、後に長崎などを拠点にキリスト教の布教を伴う貿易を行った国はどこですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
1. イギリス
 2. ポルトガル
 3. スペイン
 4. オランダ
- 問5 室町時代後半から戦国時代にかけて見られた、身分や立場が下の者が、実力によって上の者に打ち勝ち、その地位を奪う社会的な風潮を何といいますか。（2016年 静岡県公立入試 類似）
1. 一向一揆
 2. 尊王攘夷
 3. 御成敗式目
 4. 下剋上
- 問6 戦国大名が、室町幕府の法律があるにもかかわらず、独自に分国法を制定する必要があった背景として最も適切な理由はどれか。（2021年 京都府公立入試 類似）
1. 室町幕府の支配力が弱まり、大名が自力で領内の武士を統制し、領民を保護して団結させる必要があったため。
 2. キリスト教の布教を制限し、仏教を基盤とした道徳的な領国経営を行う必要があったため。
 3. 元寇による社会の混乱を鎮め、分割相続によって困窮した御家人の生活を救済する必要があったため。
 4. 貨幣経済が浸透し、外国との貿易による利益を独占するために全国共通の商業ルールが必要になったため。
- 問7 16世紀のヨーロッパでは、既存の教会のあり方を批判する動きから宗教改革が起こり、新教とも呼ばれるプロテスタントが誕生しました。この宗教的な対立が、当時のポルトガルやスペインといったカトリック諸国の海外進出にどのような影響を与えたか、最も適切な説明を選びなさい。（2021年 愛知県公立入試 類似）
1. プロテスタントの勢力拡大に直面したカトリック側が、失った勢力を回復するために海外での布教活動を強化した。
 2. プロテスタント諸国が海外進出を独占したため、カトリック諸国は布教よりも国内の防衛を優先させた。
 3. カトリックとプロテスタントの両勢力が協力体制を築き、イスラム教圏を回避するための新しい航路を開拓した。
 4. 宗教改革によってキリスト教の権威が失墜したため、ヨーロッパ諸国は布教を目的とした海外進出を完全に停止した。
- 問8 戦国大名の朝倉氏が定めた分国法（領国内の法律）の中には、家臣は自分の領地に城を構えることを禁止し、大名の本拠地である一乗谷に集まって住むべきことや、各地の統治には代わりの役人を配置することなどが記されています。このように、戦国大名が家臣を強制的に呼び寄せ、あわせて商工業者を集めることで経済の活性化を図った、領国の政治・経済・文化の中心地を何と呼びますか。（2023年 広島県公立入試 類似）
1. 門前町
 2. 港町
 3. 宿場町
 4. 城下町
- 問9 会津地方を治めた蘆名氏や伊達氏が活躍していた日本の戦国時代において、世界で同時に起こっていた出来事として最も適切なものはどれですか。（2018年 福島県公立入試 類似）
1. アラビア半島でムハンマドがイスラム教を創始した
 2. ドイツのルターが聖書に基づき教会の腐敗を批判した
 3. アメリカで奴隷制をめぐる南北戦争が勃発した
 4. フランスで市民が自由と平等を求めて革命を起こした
- 問10 戦国時代の堺において、自治的な運営を支えた商人の経済力や、当時の文化的な背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 滋賀県公立入試 類似）
1. 勘合貿易の独占によって得た利益を背景に、幕府の役人が直接町を支配した。
 2. 会合衆と呼ばれる商人たちが町を治め、鉄砲の製造技術を取り入れることで軍事的・経済的地位を高めた。
 3. 朝廷からの特権を得た公家たちが、伝統的な和歌や蹴鞠の文化を町衆に広めた。
 4. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの文化のみを追求した。
- 問11 日本に鉄砲が伝来した16世紀半ばの世界情勢について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2019年 大分県公立入試 類似）
1. ムハンマドがイスラム教を創始し、アラビア半島の統一を進めていた。
 2. アメリカでリンカーンが大統領に就任し、南北戦争が勃発していた。
 3. チンギス・ハンがモンゴル帝国を建国し、ユーラシア大陸の広範囲を支配していた。
 4. ドイツのルターが、ローマ教皇や教会の権威を否定し宗教改革を開始していた。
- 問12 15世紀末、ポルトガルの航海者がアフリカ大陸南端の喜望峰を回ってインドに到達したことで、ヨーロッパからアジアへの直接的な海上ルートが確立されました。この人物が切り開いた「インド航路」について述べたものとして、最も適切なものを答えなさい。（2017年 高知県公立入試 類似）
1. マルコ・ポーロが、陸路でアジアを訪れた帰路に発見した。
 2. フェルディナンド・マゼランが、世界一周航海の一環として立ち寄った。
 3. クリストファー・コロンブスが、西回りでアジアを目指す途中に到達した。
 4. バスコ・ダ・ガマが、香辛料などの交易を目的として到達した。